饑餓の饗宴

ランボー

富永太郎訳

青空文庫

目次

まえがき 4
第一章面白うてやがて悲しき本の世界 7
第二章コンピューターで読む本がやってきた 67
第三章電子ガリ版で自分の本を作る 106
第四章インターネットが吹き込む電子本の命 174
終章みにくいアヒルの子としてのＤＴＰ 242
参考文献 269

俺の饑(うえ)よ、アヌ、アヌ、
　驢馬に乗つて　逃げろ。

俺に食気(くひけ)が　あるとしたら、
食ひたいものは、土と石。
ヂヌ、ヂヌ、ヂヌ、ヂヌ、空気を食はう、
岩を、火を、鉄を。

俺の饑(うえ)よ、廻れ、去れ。
　音(おん)の平原！
旋花(ひるがほ)のはしやいだ
　毒を吸へ。

貧者の砕いた　礫を啖へ、
教会堂の　古びた石を、
洪水の子なる　磧の石を、

くすんだ谷に　臥てゐる麺麭(パン)を。

俺の饑は、黒い空気のどんづまり、
　鳴り響く蒼空！
――俺を牽くのは　胃の腑ばかり、
　それが不幸だ。

地の上に　葉が現はれた。
饐えた果実の　肉へ行かう。
畝(うね)の胸で　俺が摘むのは、
野蔗(のぢしや)苣に堇。

俺の饑よ、アヌ、アヌ、
驢馬に乗つて逃げろ。

青空文庫情報

底本：「富永太郎詩集」現代詩文庫、思潮社
1975（昭和50）年7月10日初版第1刷
1984（昭和59）年10月1日第6刷
底本の親本：「定本富永太郎詩集」中央公論社
1971（昭和46）年1月
入力：川山隆
校正：Juki
2014年8月7日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

饑餓の饗宴

ランボー

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　富永太郎訳
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/